

カナダ派遣を通して

学校名 ゆうべつ学園
学 年 9年
氏 名 渋谷 朋樹

私は、カナダ派遣に向けてたくさんの目標を立てました。

1つ目は、海外のコミュニケーションの仕方を学ぶことです。海外の人達は、フレンドリーな方が多い印象だったからです。

2つ目は、SDGsについて学ぶことです。実際に調べるよりも自分で体験し、自分の目で確かめてみたかったからです。また、そのデータを授業の湧別学のテーマとして取り上げたいからです。そのため、私はカナダに行く前に主に2つの努力をしました。1つ目は、英語力を向上させるということです。行く前の私には、英語で会話がまともにできない状態でした。そのため、SDGsの質問の仕方について調べたり、英語の基礎の勉強をするなどしました。2つ目は、心構えです。2週間という限られた期間でどれだけ自分のやりたいことができるかが大事だと考えたからです。そのため緊張している暇はありません。だからカナダ行く前に不安な事を調べたり聞いたりして自分なりですが行動しました。

私は、カナダでSDGsの11番の住み続けられるまちづくりと15番の陸の豊かさを守ろうというものをカナダの空港で学びました。このことを湧別学を通して湧別の良さにできたらと考えました。他には、コミュニケーションです。自分が成長できる部分とも重なりますが相手の目を見る、リアクションを声でと当たり前なのかもしれませんがカナダに行く前の私にはできませんでした。

次に行く前との実際の違いです。私が想像していたものとあまり変わりがなかったです。皆フレンドリーで元気で自由でした。ですが、授業中に日本とは違い先生含め食べ物を食べていました。それに私はすごく驚きました。カナダで生活して感じたことは学校ではあまり上下関係を感じないということです。言葉のニュアンスなどが違うというのが理由としてあると考えます。他には、会計した後によくの人が「良い一日を」と言ってくれます。すごく気持ちが良くなりました。自分の成長は本当に多くありました。自分で行動する力、周りを見る力、人との話し方など数えることができないくらい成長することができました。ですが、そんな中うまくいかないことも同じ程ありました。はっきり物事を言う、英語で自分の伝えたい事を話すということです。英語は、早く多くとても苦労しました。

最後に親にはすごく感謝したいです。カナダへ行かせてもらうのは当たり前ではない事です。自分のやりたいことを反対せず応援してくれた事に感謝したいです。とても貴重な体験をすることができました。